

## セルフモニタリング報告書(令和元年度分)

令和 2 年 4 月 30 日

施設名           アブロス日新温水プール          

指定管理者名           都市総合開発株式会社          

所管課名           スポーツ都市推進課          

モニタリング項目	指定管理者 コメント	自己 評価
<b>1 事業計画の達成度</b>		
事業計画の内容に従い、適切に施設の管理運営が行われたか。	大きな事故、トラブル等が無く運営することが出来ました。 新型コロナウイルスの影響を大きく受けましたが、このような有事事項でも担当課との連絡を密にとることができ、適切に管理運営する事ができました。 また、利用者アンケートでは高い評価を頂くことが出来ました。	A
施設利用者数の増加、利用率の上昇、利用者利便性の向上などの目標は達成されたか。	令和元年度の施設利用者数は 182,049 人でした。新型コロナウイルスの影響により、3 月 4 日から 3 月 31 日まで臨時休館となり大幅な減少となったが、2 月 28 日時点では前年度と比べ 5,800 人増えており、仮に通常開館していた場合は過去最高の 20 万人を達成する見込みでした。 利用者数増加の背景には、トレーニング機器の充実や運動処方システムの導入等、様々な新しい提案を勢力的に取り組んで結果だと認識しております。	A
<del>施設の設置目的にあった成果は上がっているか (目標値を設定していないその他の施設)。</del>	<del></del>	<del>A・ B・ C・ D・E</del>
自主事業は計画どおり行われたか。	新型コロナウイルスの影響を受けましたが、それ以外の予定していた自主事業は計画的に開講する事ができました。子ども水泳教室では、欠席・振替連絡を、WEB 手続きシステムを導入し、携帯やパソコン画面で簡単に手続きができるようになるなど、サービス向上に努めております。 その他、水中バレーボール大会の開催や、ビーチボールや浮き輪の無料貸出等も行い、プールの新規利用者を獲得するためのイベントも開催しております。	A
地域、関係機関、ボランティア等との協働・連携に向けた取組が行われているか。	近隣の小中学校や町内会、水泳関係団体の代表者で構成される利用者協議会を開催し、情報交換や施設運営状況について協議しております。苫小牧水泳協会とも連携し、水泳競技会や泳力検定会を開催しております。さらに、障害者団体(ほっかいどうタンポポ・あじさいの会)、赤十字苫小牧地区主催の講習会等に協力しております。また、中学校からの職業体験依頼があった場合、複数名の生徒を受け入れております。	A

2. 利用者の満足度		
利用者の満足が得られているか。	利用者アンケートの調査結果から、やや満足以上の回答を98%達成し、高い評価を頂くことができました。	A
利用者の意見・要望の把握は適切に行われているか。	施設内にご意見・ご要望カードを設置し、館内放送で積極的に案内しております。投函された意見要望については館長が回答後、施設内に掲示しております。	B
利用者の意見・要望・苦情への対応は十分行われたか。	利用者から寄せられた意見・要望・苦情はすべての項目に館長が回答しております。 重要な項目については総合政策部スポーツ推進室に報告・連絡・相談し適切な対応を協議致しました。過去の意見・要望・苦情内容はファイリングし、いつでも閲覧可能としております。	B
3 管理運営の効率性		
経費の低減が図られているか。またその取組は十分か。	電気料や熱量、水道料を節約の為、必要のないものは削減し、使用可能なものは再利用しております。また、施設 LED 化に切り替え、更なる経費削減に努めています。 更に、受付にタブレット端末を導入し、利用者の手続きの利便性の向上だけでなく、従来の紙媒体を無くしたことによる削減にも取り組んでおります。	A
一部業務の再委託に要している経費は、適切な水準か。また、経費が最小となるような取組はされているか。	苫小牧市内に事業所がある信用ある企業を選定しております。また、経費が削減できるよう、見積は複数社に依頼し、決定した業者とは十分な協議も行っております。	A
収入増加のための取組はされているか。	新規利用者の獲得の為、広報やホームページ、新聞紙面等による施設の案内、SNSを使用しPRをしております。また、トレーニングマシンの新規導入や、体組成計「InBody」の導入、運動処方システム「i☆Trainer」の導入など、運動初心者から上級者まで、幅広い層が利用できる施設づくりに力を注ぎました。	A
4 適正な管理運営		
人員配置及び職員の管理体制は適正か。	管理・運営に不安のない適正な人員を配置しております。利用者数の増加により仕事量も増加しますが、職員を多く雇用し対応しております。	B
職員の能力向上に向けた取組は行われたか（研修等）。	消防訓練はもちろん、AED 講習や溺者想定救助訓練を実施しております。また、職員の個々の能力向上に向けた個別指導、外部講習会への参加や他施設への視察も積極的に行っております。	A
施設の平等な利用等について、適切に処理されているか（使用料の減免、還	子どもから高齢者、障がい者まですべての市民が安心して快適に施設利用できるように十分配慮しております。また、使用料の減免についても、日新温水プール条例・規則に則り対応して	A

付含む。)	おります。	
利用者の個人情報等について適正に管理が行われていたか。	業務上知り得た情報は、個人情報保護の観点から書類等は社外へ持ち出さず、鍵のかかる書庫に保管しております。また、不要な書類はシュレッダー処理を徹底しております。	A
収支の状況に不適切な点はないか。会計処理は適正か。	収支について適正に処理し計上しております。	A
施設・設備等の法定点検及び保守は、適正に行われているか。	法定点検について、必要な全ての項目を終了しております。また、法定点検以外にも必要と思われる内容については独自で保守点検・定期点検を実施しております。	A
書類・備品等の管理は適正に行われているか。	重要な書類は鍵のかかる書庫に保管しております。備品の管理についても、修繕の必要なものは速やかに対応し、購入や廃棄の手続きも適切に行っております。	A
安全対策（事故防止等）は十分だったか。	消防訓練や AED 講習、溺者想定訓練の実施により、職員は危機管理に関する知識を深めております。事故防止の為、案内や館内放送により注意を促しております。また、滑りやすい場所や危険な場所には滑り止めや手すり、クッション等も設置しております。	A
法令・協定書等を遵守し、適正管理が行われているか。	法令・協定書・日新温水プール条例・日新温水プール規則を順守し管理運営をしております。施設の持つ役割を十分理解して運営しております。	A
<b>5 地域貢献</b>		
雇用・資材調達・再委託等、地域貢献に努めているか。	職員は地元の雇用を優先しております。資源調達や委託業者は苦小牧の業者を優先に考えて選定しております。また、中学校と連携し職業体験の受け入れを実施しております。 さらに、自主事業経費により雇用を拡大しており、雇用創出貢献もしております。	A

A: 目標、事業計画を上回る取組がされており、管理運営状況は極めて良好である。

B: 目標、事業計画どおり又はそれ以上の取組がされており、管理運営状況は良好である。

C: 概ね目標、事業計画どおり行われおり、管理運営も適正で、特段問題は見られない。

D: 目標、事業計画において一部未達成があるなど計画内容を下回っており、又は管理運営において一部不適正な部分があるなど、改善が必要と認められる点がある。

E: 目標、事業計画の内容を大幅に下回っており、かなりの部分において改善が必要である。

## 自己評価 **★★★★★**

(最大評価を★5つとし、5段階評価で星を塗りつぶしてください。)

## 指定管理者の自己評価(全体を通して)

令和元年度の管理運営に当たり、事業計画書を基に基本協定書や日新温水プール条例、規則を順守致しました。また、スポーツ都市推進課や各関係機関と適切に連携できたことで、大きなトラブルや事故を起こすことなく管理運営することができました。

新型コロナウイルスの影響により3月は休館を余儀なくされましたが、休館期間中は、消毒作業や館内清掃、受付にアクリルボードの設置、消毒・換気時間のマニュアル作成など感染防止対策に努めて参りました。このような有事事態では職員間の連携が重要となりますが、スムーズな対応ができたと自負しております。

利用者実績も大きな影響を受けましたが、トレーニングエリアの拡大、運動処方システムの導入、施設 LED 化、受付方法のタブレット化など利用者サービスの向上に力を注いだ結果、仮に休館をしなかった場合は年間利用者数 20 万人を突破する見込みでした。近年の少子高齢化や競合他社の進出により、施設に求められている役割やニーズは年々変化いたしますが、利用者目線に立った運営を基本に、更なる利用者サービスの向上を目標に努力して参ります。

今後も新型コロナウイルスの影響は避けられないと思いますが、職員が一丸となり必ずこの逆境を乗り越え、少しでも早く運動の機会の失った方や、施設から離れてしまった方に安心安全に施設利用していただけるよう努力して参ります。